

保管用データ作成にかかる追加特記仕様書 (橋梁新設・修繕工事用)

本追加特記仕様書は、成果品として定められている電子納品用成果とは別に、データ保管のために作成する電子データの作成について定めるものである。

1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、受発注者間で協議の上これを定めるものとする。

2 提出部数及び収蔵媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収蔵媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、発注者との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収蔵媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を発注者に報告しなければならない。

3 橋梁新設・修繕工事にかかる保管用データの作成 (参考資料参照)

- (1) 橋梁新設・修繕工事に関する保管用データは、別途「橋梁新設・修繕工事にかかる保管用データ格納フォルダー構成」に示す構成により取りまとめ、格納しなければならない。
- (2) 報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧表」を作成し、格納しなければならない。
- (3) 各橋梁毎に、竣工図面及び工事写真を仕分けして格納しなければならない。このとき、ファイルの形式 (JPEG、PDF、p21など) については、特に指定はなく、関連するデータを格納する。その他記載のないものについては、発注者と協議のうえ指示を得なければならない。
- (4) 成果品については、発注者より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行ない、エラーの無いように修正しなければならない。

- (5) チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を発注者に紙面にて報告し、協議のうえ指示を得るものとする。
- (6) 本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、発注者より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう受注者の責により補修しなければならない。

【参考資料】

1. 橋梁新設・修繕設計にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
2. 業務対象橋梁一覧について

【参考資料】

1. 「橋梁新設・修繕工事にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について



※橋梁番号、分割番号、橋梁名は、業務対象橋梁一覧に整合させる。

2. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。